2026 年初冬

有機農産物の生産行程管理者

基本：お茶編

2026 年初冬講習会開催要項

農林水産省登録認証機関登録第 17 号

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会

期日　2026 年 12 月 7 日（月）、8 日（火）

（2 日間で 1 セットです。2 日間の参加が必要です）

会場　オンライン

この講習会は、茶の有機栽培を基本にした登録認証機関の指定講習会です。有機農産物の生産行程管理者の生産行程管理責任者や格付担当者になるために必要な資格要件を付与します。茶の栽培に係ることを中心に組んだものです。

規格や基準の説明もしっかりありますので、お茶以外の生産者も資格を取得できます。

一、　参加について

オンラインでの参加になります。

●オンライン参加は、機材を準備してご参加ください。

①　パソコン

②　インターネット接続が可能な設定及び映像伝送が可能な通信速度をもった回線接続（インターネットの自由な閲覧が可能であれば可能）。通信料金は、ご自身でご負担をお願いします。

③　電子メール

④　マイク、スピーカー、カメラ。いずれも PC 内臓でも外部接続でも良い。

⑤　ファックス（演習の提出用にファックスを使用します）

●参加の方法

申し込みいただいた方にご案内します。

●オンライン参加者へのテキストの発送

オンライン参加者のみなさんへのテキストの発送は、12 月 3 日を予定しています。

●接続試験

オンラインの申し込みをいただいた方には、あらかじめ接続試験を実施します。12 月 3 日午後 4 時 30 分から予定します。

●　演習のためのファックス

講習の中に演習があります。オンライン参加者の方は、回答をファックスでご提出いただきます。

●定員　12枠

枠とは接続するパソコンの台数です。1台のパソコンで複数人の参加は、差支えありません。ただし、大型のモニターがない限り、1台で 2 名程度までが望ましいです。

二、　プログラム

＜12月7日＞（月）

受付開始　午前9時45分から（オンラインの方は、この時間から接続できます）

開会　　午前10時

ガイダンス　午前10時から10時20分

主催団体あいさつ

テキストの説明

１、　有機の表示、有機JASマーク、認証の取得、同等性の利用、などなど有機認証制度

JAS法の決めていること。認証要求事項も含む

（最新のJAS法になります）

午前10時20分から正午

昼食休憩　正午から午後1時

演習　理解度確認　　有機認証制度について

午後1時から1時45分

２．農産物及び有機農産物の表示について

午後1時30分から午後2時30分

演習　　表示の作成

午後2時30分から午後3時

休憩　10分

４．有機農産物の日本農林規格解説

（有機農産物の日本農林規格を茶の栽培管理にあわせて説明します）

午後3時20分　から　午後5時（途中休憩を入れます）

有機農産物にかかわる規格の用語と定義
有機栽培の原則
ほ場の条件
茶の有機栽培
茶工場の有機管理
製品の表示

演習　JAS規格の理解
午後5時から5時30分

回答を提出して初日終了

＜12月8日＞（火）
午前9時開始

５．演習の講評
午前9時から9時45分
①　表示
②　JAS規格の理解

６．有機農産物生産に使用できる肥料や土壌改良資材の条件
表A.1への適合性評価の方法と事例
午前9時45分から10時15分

休憩　15分

７．有機農産物生産に使用が許される農薬
表B.1への適合性評価の方法と茶に適用のあるもの
午前10時30分から11時

８．事例紹介
性フェロモン剤の上手な使い方
午前11時から11時40分

昼食休憩
11時40分から12時40分

９．有機農産物についての生産行程管理者の認証の技術的基準解説

12時40分から午後2時30分
生産行程管理者に必要な生産及び保管の施設
生産管理の方法
生産行程管理責任者の配置
生産行程管理規程をつくって、それにしたがって生産管理を行う
茶の生産の場合の規程に必要なこと
生産行程管理担当者の資格、必要な人数
格付の実施
格付とは
格付規程をつくり、それにしたがって格付を行う
格付担当者の資格及び人数

10．演習　格付の実施と講評
午後2時30分から3時10分

休憩　10分

１１．特別報告
午後3時20分から4時50分
①　有機栽培の基礎技術に係り、作物を元気にする土づくり、土壌微生物の働き
もしくは、有機栽培の実践事例報告
②　事例報告
ミニトマトの有機栽培
茶の有機栽培30年
＊このテーマは講師の事情により変動します。

１２．まとめ
レポート課題の説明・閉会
午後４時50分から５時

午後5時終了

＊講師の都合で、多少の時間変更、講義の順番、一部内容の変更等がある場合があります。
＊講義以外に予定している情報提供
①天敵及び生物農薬製剤
②性フェロモン剤
③使用可能資材の技術情報

以上

2026 年 12 月 7（月）―8 日（火）

有機農産物の生産行程管理者　基本：茶編　オンライン

参加申込書

１、参加者（受講修了書の関係がありますので、お一人一枚。）

氏名	
住所（テキスト及び修了証の送付先を記載）	
所属団体名、会社名	
参加方法（該当に〇）	会場参加　　オンライン
電話	
ファクシミリー	
電子メール	

＊住所は、テキスト及び修了証を受け取るところを記載してください。

２、業務の区分（該当項目を〇で囲む）

有機農産物の生産行程管理者（認証取得済み）　有機栽培生産者（認証これから）

特別栽培生産者　　青果物卸業　　青果物販売業　　米販売業　　肥料販売業

その他

３、参加の区分（いずれかに〇）

基本（2 日間）参加　　栽培技術の項など部分受講

４．受講費用

次頁に掲載　　支払い金額　　円

５．申し込み方法

①参加申込書に必要事項を記載し、ファックスもしくは電子メールで申し込んでください。

②締切りは、2026 年 12 月 2 日です。ただし、定員になりしだい締切ります。

③費用は、下記にお振込みでお願いします。受講申し込み 1 週間以内程度の間にお振り込みをお願いします。振り込み費用はご負担をお願いします。

④宿泊、食事などは、ご自分で手配をお願いします。費用には、含んでいません。

⑤団体の方は、団体で取りまとめてご連絡ください。

申し込み先

●団体の方：団体のとりまとめ先に申し込んでください

●個人の方

ファックス　03-5812-7370　　電子メール　jimukyoku@yu-ki.or.jp

受講費用振込み先

＜郵便局＞　００１４０－８－１４４３８１　日本有機農業生産団体中央会

＜銀行＞　　三菱ＵＦＪ銀行　秋葉原支店　普通口座　５０２０３０４

特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会　理事　齋藤修

受講費用

●基本

区分		受講費用
基本	会員	20,350
	非会員	27,269

＊受講費用には消費税 10%が含まれます。

＊この費用は有機中央会の講習会規程にもとづく全国統一の費用です。
＊宿泊、食事等の費用は含みませんので、各自ご手配ください。
＊オンラインのための通信費は、ご自身で負担をお願いします。

●部分受講費用
（すでに受講済みのみなさんが情報の更新のために参加する場合）
（部分受講は受講修了証の発行対象になりません）

区分		受講費用
1 日分	会員	10,450
	非会員	14,003

＊受講費用には消費税 10%が含まれます。

＊この費用は有機中央会の講習会規程にもとづく全国統一の費用です。
＊宿泊、食事等の費用は含みませんので、各自ご手配ください。

税別区分
　消費税は 10%です。８%対象はありません。表示金額は、10%の消費税を含んだ金額です。

農林水産省登録認証機関登録第 17 号
特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
登録番号　T9010005004937

以上